

2019年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2020年4月28日

事業所: らく相談室まなえだ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・職員の勤務日時が異なり、一同に集うことがないためコミュニケーションを図るための工夫をしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・受付に掲示している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・必要に応じて第三者による外部評価の実施を検討していく。そのため客観的な評価が行える人選をする等が課題になる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・月2回所内研修を実施した。 ・外部講師を招いての研修を行った。	・今後も研修の機会を確保していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	指導内容が固定化しないよう工夫している	○		・スタッフ間で教材等の情報交換をおこなっている。 子どもの実態により手作り教材で対応、工夫している。	
	12	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		所内研修で「記録の取り方」についての研修を行った。	・支援内容の検証・改善につなげていける記録になるように工夫・改善を続けていく。
	13	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	14	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	15	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	16	学校との情報共有を適切に行っている	○		・保護者を通じて共有できるようにしている。 ・保護者から連携要請があった場合には、学校と連絡を取っている。	
	17	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、必要に応じて子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	・該当者なし	
	18	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・必要な場合に実施している。	
	19	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	・該当者がなく今後の対応になる。	
	20	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	21	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・保護者同伴のため、毎回支援内容を伝え、子どもの状況を共通理解出来るようにしている。	
保護者への説明責任等	23	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		今年度末計画したがコロナ感染拡大予防のために部分実施となった。次年度には再計画し、定期的実施する予定にしている。
	24	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	25	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・毎通所時に保護者相談の時間を設けている。 ・保護者の「困り感」を見極めた上で適切に対応している。	
	26	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・管理責任者に報告し迅速に体制を整備して対応にあたっている。	
	27	予定や連絡事項等を、子どもや保護者に対して適切に発信している	○		・所内に次月予定、連絡事項等を掲示している。	・情報発信のために通信の発行を検討している。
	28	個人情報に十分注意している	○			

	29	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
非常時等の対応	30	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時避難マニュアル、感染症マニュアルを作成し、災害時避難マニュアルを所内に掲示している。 ・感染予防対策について、保護者に書面と口頭で依頼した。 ・迅速に新型コロナウイルスの感染予防・拡散防止の対応を行った。 	・コロナ感染拡大予防のために、よりよい対策を他機関から情報を得るよう努力し、対応策を常に更新していくようにする。
	31	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・年2回の避難訓練(火災、地震)消火訓練を行っている。	
	32	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・外部研修に参加し、所内で伝達研修を実施している。	・支援内容、方法を常に省みることで適切な対応、支援が行えているか意識化していく。
	33	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・日常から環境整備を心掛けている。	・事象が発生した時は迅速に所内で共有、改善方法を検討する。